

四日市市政記者クラブ各位

令和7年6月10日 四日市市記者発表資料	
問い合わせ先	
四日市市教育委員会 博物館	
担当者	森、森山
電話	059-355-2700
Eメール	hakubutsukan@city.yokkaichi.mie.jp

記者発表資料

学習支援展示「四日市空襲と戦時下の暮らし～銃後を支えた女性たち～」 開催について(お知らせ)

日頃より、四日市市立博物館の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当館で6月10日(火)から8月31日(日)まで学習支援展示「四日市空襲と戦時下の暮らし～銃後を支えた女性たち～」を開催しますのでお知らせいたします。

記

学習支援展示「四日市空襲と戦時下の暮らし～銃後を支えた女性たち～」

- 会 期 令和7年6月10日(火)～8月31日(日)午前9時30分から午後5時
- 休館日 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、ただし8月12日(火)は開催
- 会 場 四日市市立博物館 3階常設展「時空街道」内展覧処「白里亭」、3階ロビー、2階常設展(一部)
〒510-0075 四日市市安島一丁目3番16号 TEL 059-355-2700
- 観覧料 無料

別紙

開催趣旨

80年前、四日市は終戦の2か月前にアメリカ軍のB-29による空襲に遭いました。この戦争の記憶を風化させないために、平和学習の支援を目的として戦時下のくらしの様子を、実物資料や写真パネル・模型などで紹介します。さらに今から79年前の昭和21年(1946)4月10日には、わが国で女性が初めて参政権を有し、女性の社会進出の転機となりました。

そこで戦後80年の節目の今年は、戦時中に銃後(戦場から離れた地域または直接戦闘せず後方から支援すること)を支えた女性たちに焦点を当て、博物館3階のロビーや常設展内の「白里亭」に、防空壕のジオラマや焼夷弾の実物大模型、模擬原子爆弾(パンプキン)に関する資料、空襲の様子を語るビデオ映像など、当時の様子を知ることができる貴重な資料を数多く展示します。また、2階「四日市公害と環境未来館」の常設展でも、四日市空襲の映像や戦時下の様子を紹介し、今を生きる人々、特にこれからの未来を担う子どもたちに、戦争の悲惨さへの理解を深め、平和の尊さを伝えることができる展示を行います。

主な展示物

大日本国防婦人会たすき、徽章、千人針、慰問袋、日章旗寄せ書き、衣料切符、弾丸切手、衣料品店数表、罹災証明書、代用品(陶製ボタン、陶製湯たんぽ、陶製鏡餅、陶製マッチ箱、陶製戸車、他)、灯火管制カバー、空襲警報発令表示、国民服他多数



会場内の様子